

2023年度出力制御見通しについて

2023年 8月 3日

北陸電力送配電株式会社

未来へ、めぐらせる。

1. 2023年度短期見通しの算定結果について

<シミュレーションの前提条件>

- 2023年4月～6月までの出力制御実績を反映し、2023年度の出力制御見通しについてシミュレーションを実施
- エリア需要は、今年度至近の状況を踏まえて、2021年度の前日想定・実績データの当初想定から需要減少を織り込んだデータを使用
- 太陽光・風力は、2021年7月～2022年3月の前日想定・実績データを使用
- 太陽光・風力発電の設備量は、2023年3月末設備量に至近の増加量を考慮
- 火力は、エリア需給運用において必要最小限を織り込む
- 供給力は、2023年度補修計画を織り込む
- 連系線活用量は、今年度至近の状況を踏まえて、送電可能量の10%として算定
- オフラインの制御量は、前日の予測値（需要・再エネ出力）に誤差を加算し算定

1. 2023年度短期見通しの算定結果について

<2023年度出力制御見通し>

	出力制御率（制御電力量）〔太陽光・風力それぞれの出力制御率〕 ※1					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象設備計	全設備
	オフライン	オンライン				
2023年度 見込み	1.82%※2 (1248万kWh) 〔太陽光：2.43% 風力：0.34%〕	0.29% (90万kWh) 〔太陽光：0.33% 風力：0.14%〕	0.26% (104万kWh) 〔太陽光：0.26% 風力：0.18%〕	0.24% (65万kWh) 〔太陽光：0.24% 風力：－〕	0.90%※2 (1507万kWh) 〔太陽光：1.02% 風力：0.28%〕	0.55%※3 (1062万kWh) 〔太陽光：0.60% 風力：0.28%〕
(参考) 2023年度 エリア全体 オンライン化	0.50% (496万kWh) 〔太陽光：0.60% 風力：0.21%〕		0.57% (235万kWh) 〔太陽光：0.60% 風力：0.21%〕	0.60% (163万kWh) 〔太陽光：0.60% 風力：－〕	0.53% (894万kWh) 〔太陽光：0.60% 風力：0.21%〕	0.47% (894万kWh) 〔太陽光：0.51% 風力：0.21%〕

※1 各区分の出力制御量／各区分の総発電量（出力制御量含み）にて算出。全設備は出力制御対象外設備を含む総発電量（出力制御量含み）に対する出力制御量の割合を示す。

※2 オフライン代理制御分を含む。（オフライン相当の8時間停止に換算した値で算出）

※3 実際の制御時間で評価した値（オフライン本来制御およびオンライン本来制御・代理制御の合計）

（注）四捨五入の関係上、合計値が合わない場合がある。

<2023年度出力制御見通し（全設備）の内訳>

	実績	見通し	
	4～6月	7～3月	年度合計
全設備	1.74% (1041万kWh) 〔太陽光：1.75% 風力：1.57%〕	0.02% (21万kWh) 〔太陽光：0.02% 風力：0.00%〕	0.55% (1062万kWh) 〔太陽光：0.60% 風力：0.28%〕

2. 2023年度当初想定に対する増減分析

- 2023年度当初想定と比較して、主に連系線活用率の減少により出力制御率が増加する見込み。

項目	内容
太陽光・風力	当初想定と比較して、4～6月平均で太陽光の最大出力の差は+1万kW程度増加
連系線	連系線活用率が4～6月平均で当初想定50%から6%程度に減少、7～3月は、当初想定50%から今年度至近の状況を踏まえて10%で計算
揚水・原子力・火力	最低出力に影響を与えるような火力機の補修量の差は特になし
需要	・当初想定と比較して、4～6月の休日平均で約8%の需要減 ・2022年度冬季の節電継続や、電気料金高騰による節約等の効果と想定
その他	特になし

3. 電源（太陽光、風力）のオンライン化

第46回系統ワーキンググループ資料2-2を参照

5

- 北陸エリアでは、太陽光・風力の旧ルールのおフライン事業者に対して、ホームページにて出力制御機能付 P C S 等への切替を推奨する旨を掲載し、オンライン制御への切替を推奨している。
- 引き続き、オンライン化のメリットを丁寧に説明し切替を促していく予定。

<北陸エリアにおけるオンライン化の状況※>

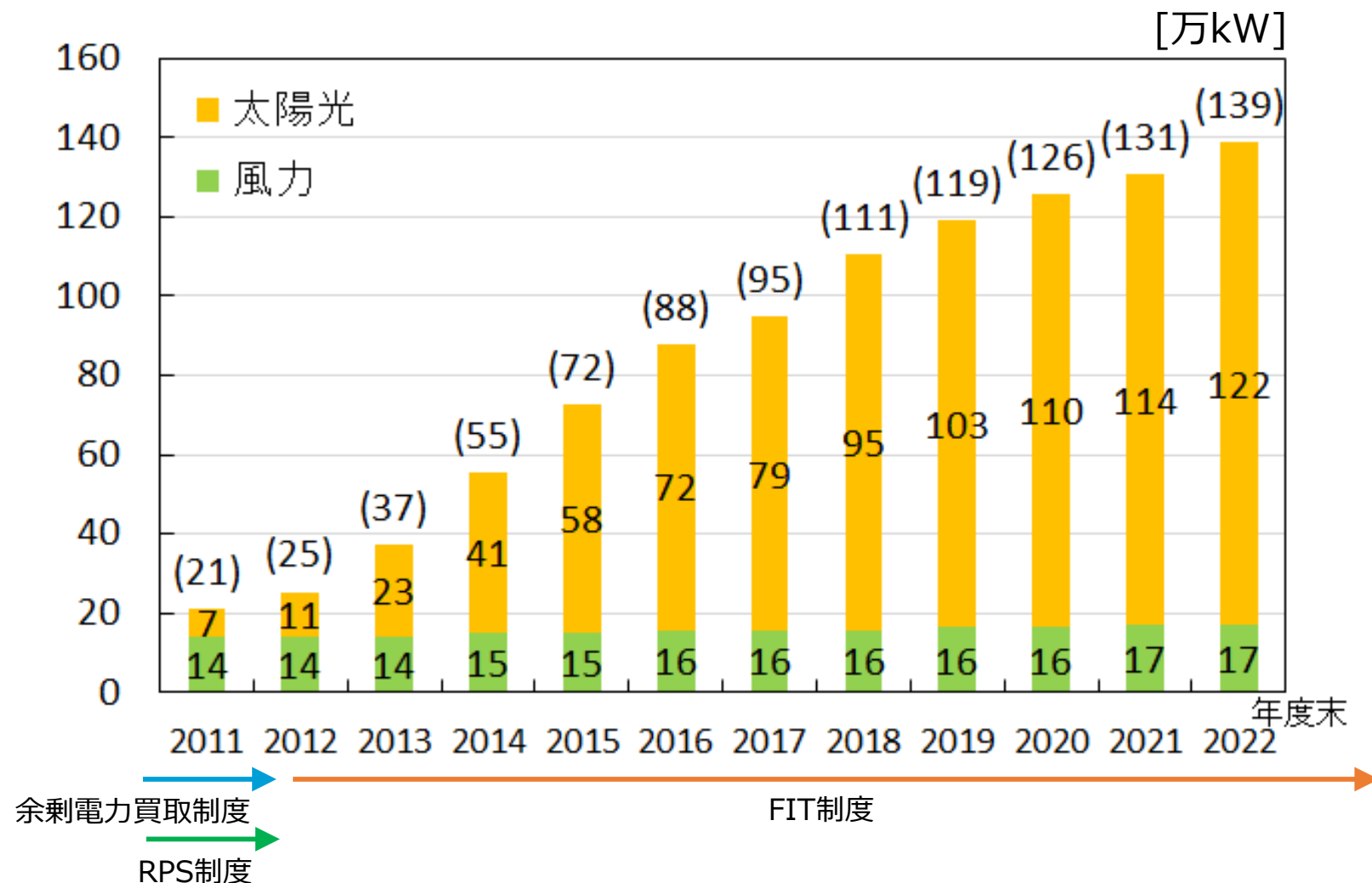
[万kW]

		2023年3月末	(参考) 2022年8月末
太陽光	①オンライン化率 ((②+④)/(②+③+④))	80.9%	79.4%
	②新ルール・無制限・無補償ルール、オンライン事業者	50.9	42.9
	③旧ルール、オフライン事業者	16.7	16.4
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	19.5	19.3
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 (④/(③+④))	53.9%	54.1%
風力	⑥オンライン化率 ((⑦+⑨)/(⑦+⑧+⑨))	30.3%	30.3%
	⑦新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	1.5	1.5
	⑧旧ルール、オフライン事業者	11.9	11.9
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	3.7	3.7
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 (⑨/(⑧+⑨))	23.8%	23.8%

※ 旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者。新ルール、無制限・無補償ルール事業者（太陽光は10kW以上）について算定

4. 再エネの導入状況について

- 北陸エリアの太陽光・風力の導入は、2012年7月の固定価格買取制度（FIT法）施行以降、継続的に拡大しており、2022年度末時点において、太陽光122万kW、風力17万kWとなっている。



未来へ、めぐらせる。



北陸電力送配電